

# ちとせ ふれあいニュース

発行元 千歳町自治会  
発行責任者 廣瀬 照雄  
千歳町千歳垣根 一三三  
TEL 二三・〇六八一

## 年度の初めにあたって

自治会長 廣瀬 照雄

四月一日、自治会の就任初日の仕事は、自治会のお知らせ版を作成することでした。新型コロナウイルスの感染が全国的に拡大している中、亀岡市においても感染者が発生する事態となりました。お知らせ版は、四月五日の消防千歳分団の入退団式と十二日に予定していた戦没者慰霊祭を取り止めにすることを町民の皆様にお知らせするものでした。

いずれの行事も年度初めの大切なものですが、分団長さんや遺族会の会長さんともご相談の上、町民の安全を最優先に考えての苦渋の判断でした。

その後も自治委員会や各区・各種団体の総会などが延期や取り止めになるなど、これまでに経験をしたことのない事態となりました。

こうした状況で、今年度の自治会運営をどのようにすればよいのか、日々、不安が募るばかりですが、町民の皆様の安全・安心を最優先に考え、その時々に対応した対応に努めてまいりたいと考えております。

私たちは、外出自粛などで日々の生

活が大きく制限をされるなかで、今まで出来なかったことに挑戦してみたり、今までは気付かなかったことに気付いたり、また、見えてきたことも沢山あったと思います。ピンチをチャンスに捉え、皆で創意工夫をしながら新型コロナウイルスと共存していかなければなりません。

五月二十五日には緊急事態宣言が解除されましたが、コロナウイルスが消えたわけではありません。第2波、第3波の感染拡大も心配されているなか私たちは3密を避けるなど新しい生活様式に沿った行動に努めていかなければなりません。

そして何よりも、

- ① 十分な睡眠をとる
- ② バランスの良い食事を摂る
- ③ 体を温かくする（運動など）
- ④ ストレスを溜めない

自分自身の健康を守っていくこと、そのためには人間が持つ免疫力を高めておくことが大事だそうです。五十歳を超えると免疫力が著しく低下するそうですので、特に高齢者は気を付けてください。

最後になりましたが、今年度の自治会運営は、自治会館の改修工事や既存集落まちづくり区域指定制度を活用し

たまちづくりなど、そして敬老会や運動会、宝船まつりなどの恒例行事なども予定しています。状況によっては大幅な変更も予想されますが、役員一丸となって創意工夫しながら精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 廣瀬義直さん

### おつかれさまでした

令和二年三月三十一日、桜が咲き誇る七谷川野外活動センターにおいて、廣瀬義直自治会長の退任式が行われました。

当日は、七谷川野外活動センター、さくら公園体育館の職員と自治会の事務員が出席し、長年のご苦勞に感謝するとともに、今後とも健康で活躍されることを祈念しました。

廣瀬義直さんは、平成二十五年四月に千歳町自治会長に就任、幅広い知識や経験を活かされ、少子高齢化が進む中で、ちとせっ子誕生お祝い金の創設、いきいき推進事業の定例化や敬老会の充実などの高齢者を元気にする取り組み、丹波七福神宝船まつりや新春ハイキングなど千歳町の魅力を町外の方にも広く発信するまちおこし事業などを積極的に取り組んでこられました。

また、人口減少が続く千歳町の将来を見据え、空き家の活用や住宅、店舗、農家レストランなどの建築が可能となる既存集落まちづくり区域指定制度の

導入を積極的に進められ、本年三月三十日からスタートしました。

一方で、就任中には、大型台風の襲来や大雨により、これまで経験したことのない大規模災害が発生しました。その際、行政への要望活動などにご尽力をいただき、災害復旧に目途をつけていただきました。加えて、長年の念願であった府道亀岡園部線の保津大橋から三日市交差点までが開通するなど、ハード事業においても大変なご尽力をいただきました。

このように挙げればキリがないほどのご功績を残しこの度、退任されることとなりました。長い間、本当にありがとうございました。

今後は、健康には十分にご留意いただき益々のご活躍をお祈りします。

